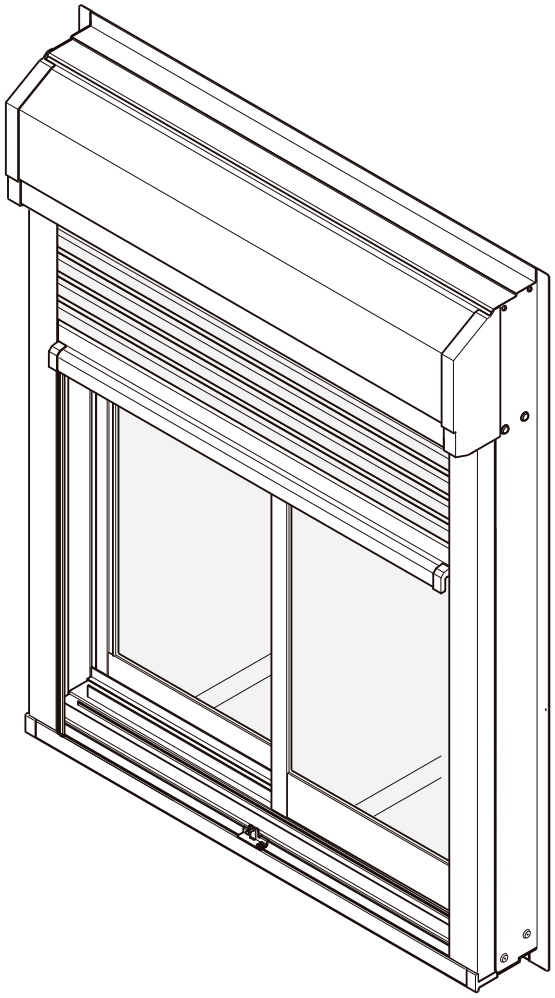
TOSTEM

お施主さま用

窓シャッター

エアリス・イタリヤ(マルチ電動・リモコン仕様)



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目　次

■重要なお知らせ……1
■警告用語の種類と意味……1
■特に注意していただきたいこと……2～5
注　意……2
お願い……3・4
ご使用にあたっての留意事項……5
■各部のなまえとはたらき……6
■ご使用前の確認事項……7
プレッシャーリターンセンサーとは……7
■［エアリス］リモコンのなまえとはたらき……8・9
1.リモコン……8
2.リモコン液晶画面の表記について……9
■操作のしかた……10～19
1.［エアリス］リモコンの操作のしかた……10
2.［エアリス］採風操作のしかた……11・12
3.［イタリヤ］リモコンの操作のしかた……13
4.［イタリヤ］お好み操作のしかた……14
5.［エアリス・イタリヤ］お好み操作の設定方法……15
6.［エアリス・イタリヤ］チャンネルの切替えのしかた……16
7.［エアリス・イタリヤ］ロックボタンの操作方法……16
8.［エアリス・イタリヤ］タイマー・現在時刻の設定のしかた……17・18
9.［エアリス・イタリヤ］タイマー予約の設定／確認方法……19
■異常表示の原因と解除のしかた……20・21
1.異常表示……20
2.停電表示……21
■連窓方立の取外し方・取付け方……22
■幅木ロック機構の使い方……23
1.幅木ロックとは……23
2.幅木ロックの操作のしかた……23
■停電時開閉機構の使い方……24～26
1.停電時開閉機構とは……24
2.開閉のしかた……24
3.電動復帰のしかた……25・26
■点検とお手入れ……27・28
点検……27
プレッシャーリターンセンサーの作動点検……27
お手入れ……28
■シャッターが動かない場合……29
■商品保証について……30

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。
「エアリス・イタリヤ」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。
なお、この取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。従って、「エアリス・イタリヤ」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では、「エアリス・イタリヤ」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

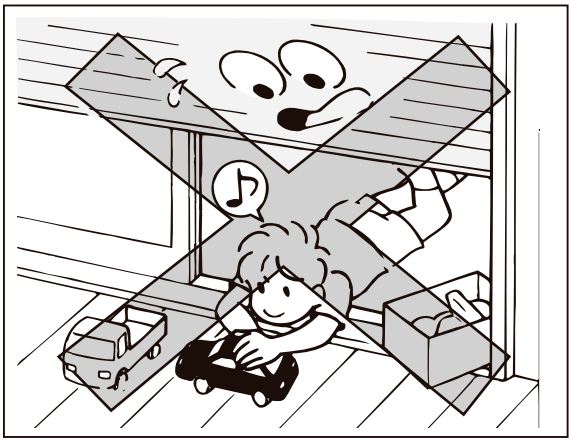
警告用語	意　味
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

（安全のため、必ずお守りください）
※ご使用の際は商品に張ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人･物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止ボタンを押してシャッターを停止させ、開ボタンを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。



●負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止ボタンを押して異常解除をしてください。

●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

●開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲（不感知帯〔下枠より100mm程度〕）が出る場合があります。この範囲に人･物がないことを確認してから作動させてください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。

●プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンの停止ボタンを押して、ただちにシャッターを停止させ、開ボタンを押してシャッターを巻き上げてください。事故･故障の原因になります。

●プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。

●改造しないでください。特にモーターおよびリモコンの改造･配線の変更は事故･故障の原因となります。

●点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

●連窓方立の取付け後に、落し錠のレバー部「閉」刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落し錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

お願い

●外開きサッシに取付けてある場合は、障子が閉まっていることを必ず確認してください。

●短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間作動が停止することがあります。（故障ではありません）
10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。

●シャッターは少なくても1ヵ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。

●シャッターを無理に引っ張ったり、押上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

●おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

●幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。

●エアリスの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がする場合がありますのでご注意ください。

●停電復帰後、1回目のボタン操作が電波法の関係上効かなくなりますが、異常ではありません。2回目のボタン操作より停電復帰を開始してください。

●シャッターボックスに、はしごをかけたり、上に乗ったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながります。

●シャッターボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。変形および故障につながります。また、その際は足場をしっかり確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。

●シャッターが凍結したときは、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。

●お子さまにリモコンを操作させないでください。誤って人・物が挟まれるおそれがあります。

●故意にシャッターボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。

●下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。
誤作動の原因になります。

●電波の強い地域では正常に作動しないおそれがあります。あらかじめご了承ください。

●極度の電圧変動が起きた場合、シャッターが正常に動かない場合があります。

●シャッターのそばでトランシーバーなどの無線機は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。

●シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。

●建物の構造により電波がとどかない場合がありますので、必ず動作が確認できる位置で操作を行ってください。

●非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」に従って1年に1回程度作動確認をしてください。

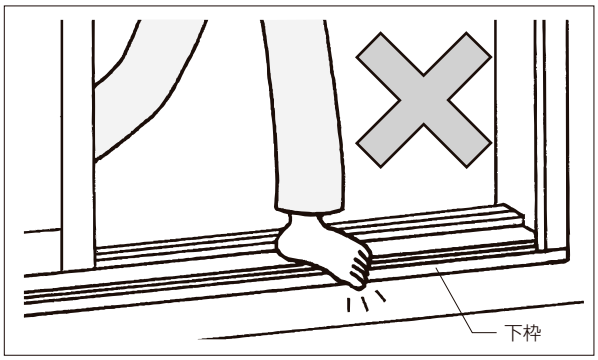
お願い

●お手入れには柔らかい布･スポンジを使用し、金属製ブラシ･金ベラなどを使用しないでください。

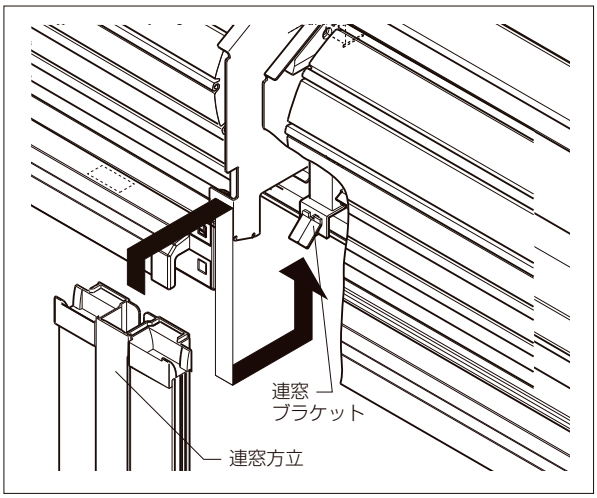
●洗剤は、必ず中性のものを使用してください。

●「エアリス」の場合は、シャッターを採風状態（シャッターが通気できる状態）にしてスラットの間のゴミ、ホコリ、砂なども取除いてください。シャッターがきれいに閉まらない原因になります。

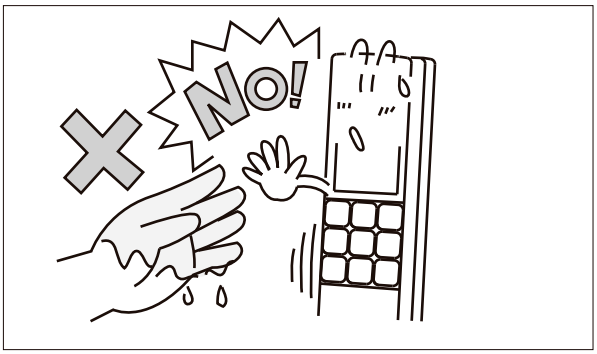
●下枠先端部に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。



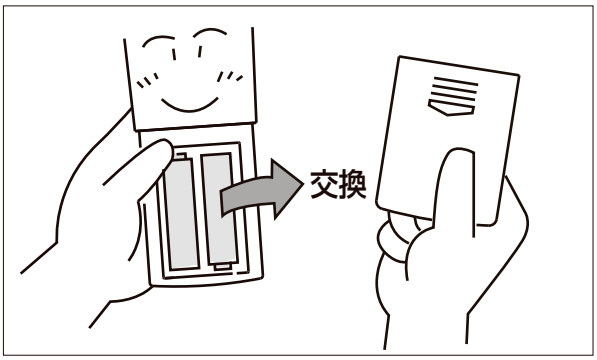
●連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。



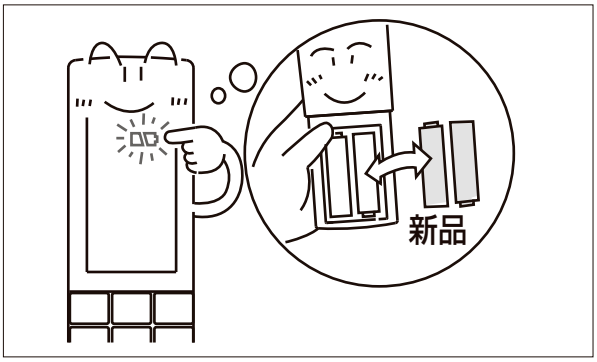
●リモコンは、濡れた手で操作しないでください。また、リモコンは直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。



●リモコンを長期間使用しないときは、液漏れ防止のため、電池を抜いてください。



●電池消耗表示が出たら、すみやかに新品の乾電池と交換してください。
（同梱されている乾電池は、短期間で消耗することがあります）



●電池交換時に新旧・異種の電池は混用をさけて、電池の＋－は正しく入れてください。

●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。

●機器内部には精密な部品があります。故障の原因となりますので、本体を開けないでください。

ご使用にあたっての留意事項

※シャッターを閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨があたった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。

※スラットの表面が、雨などに濡れていると開閉後にスラット内側に水滴が付くことがあります。これはシャッターを巻き上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面に付いた水が内側に付くためです。

※開閉途中に引っ掛かるような動きをすることがあります。これは電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉するという商品の特性上発生します。品質に問題ありませんので安心してお使いください。

※シャッターを閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。

※シャッターを閉めた状態で、強風によりスラットがバタつき、音がしたりすることがありますが異常ではありません。

※開閉動作10サイクルに1回または採風操作後に全開にすると幅木が本体内に引き込まれ反転します。これは上下限位置設定の設定値の更新を行うためです。品質に問題ありませんので安心してお使いください。

※通電中に手動開閉操作を行わないでください。設定位置がずれて途中で停止したり、反転したりすることがあります。通電中に手動開閉操作を行った場合は、P.25･26を参照して復帰してください。

※風が強い場合は、サッシを閉めてから開閉操作を行ってください。シャッターが途中で停止するおそれがあります。

※プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくることがありますので、開ボタンを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。

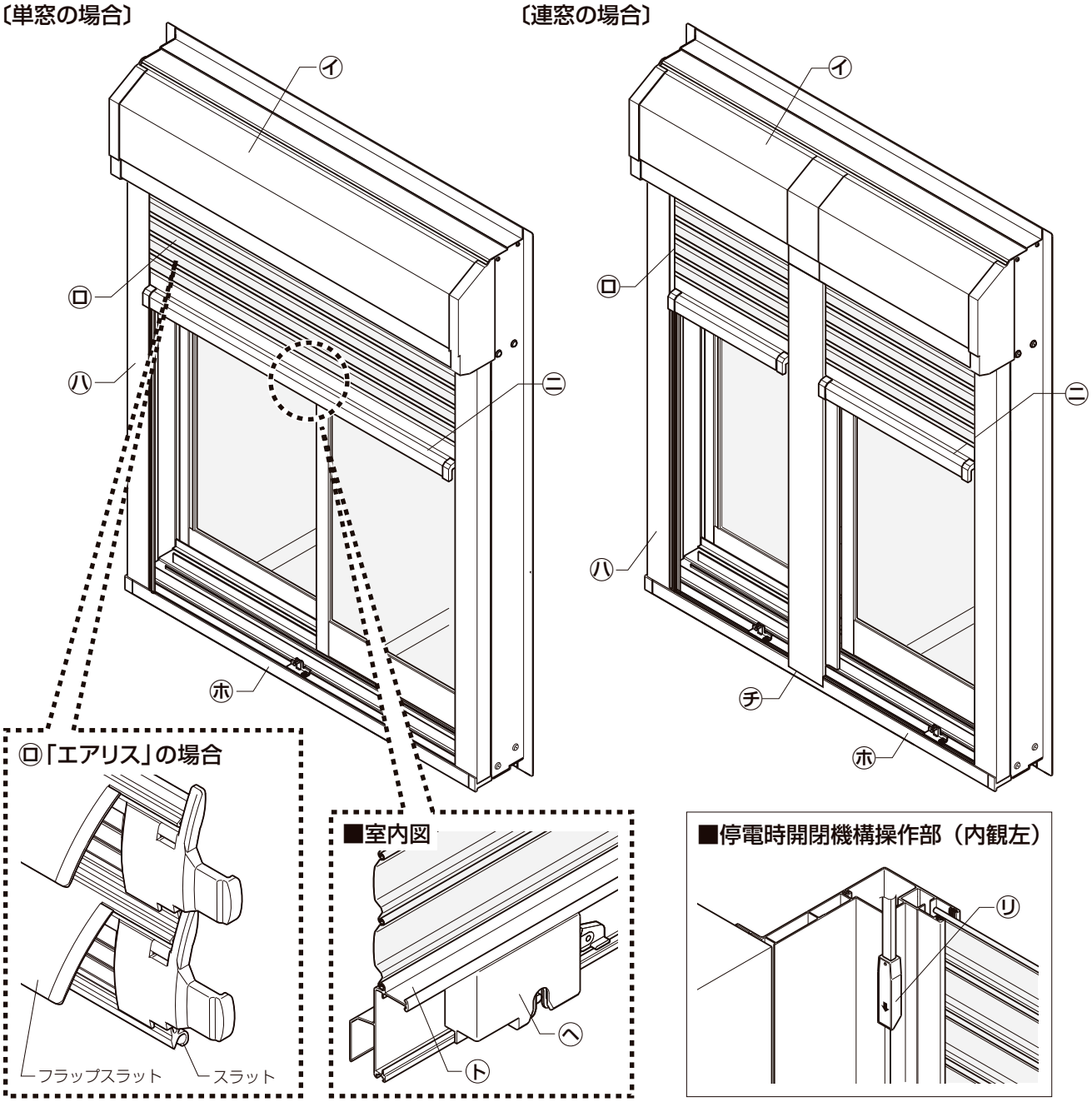
※シャッターを開ける際に、シャッターボックス内部より音がしますが異常ではありません。これはシャッターを巻き上げるとスラットが重なり巻かれる構造のためです。

※フラップスラットを閉める前に異物等が挟まれていないことを確認してください。異物等が挟まれている場合はシャッターを採風状態（シャッターが通気できる状態）にしてスラットの間をきれいにしてください。

※リモコンの無線、到達距離は約9mです。建物の状況によっては操作できない場合があります。また、近辺に強い電波を発する無線設備がある場合は、通信できない場合があります。その際は、ノイズを除去していただく対応が必要になります。

各部のなまえとはたらき

※ここでは、本体の各部のなまえとはたらきを説明しています。



●各部のなまえとはたらき

記　号	なまえ	はたらき
㋑	シャッターボックス(点検口)	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
㋺	スラット(フラップスラット)	カーテン部分です。（フラップスラットは採風用です。）※「エアリス」の場合
㋩	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
㋥	幅　木	スラットの最下部で、防犯性を高める幅木ロックが組込まれています。
㋭	下　枠	底の部分で、雨水などを流します。
㋮	幅木ロック	おやすみや外出するとき使用します。
㋯	手掛け	手動開閉のとき使用します。
㋰	連窓方立	連窓中央部にあり、スラットの動きを誘導します。
㋱	操作ハンドル	停電時開閉機構の操作用です。

ご使用前の確認事項

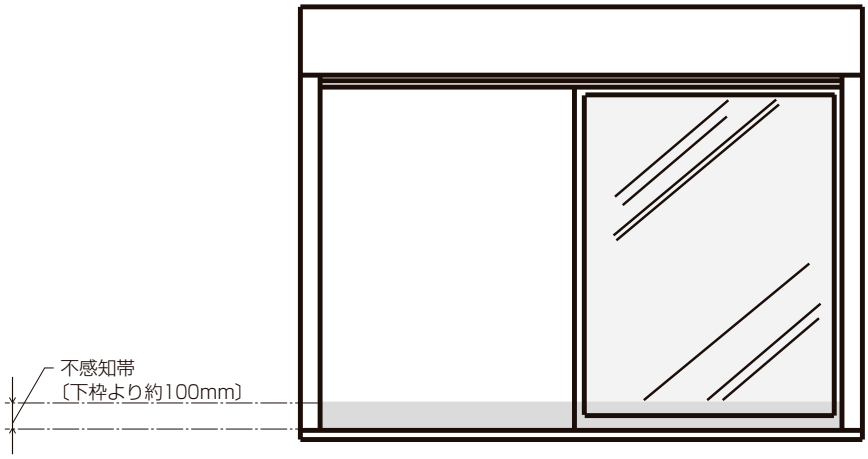
プレッシャーリターンセンサーとは

●シャッター下降中、幅木が物を挟むと、シャッターは停止し、自動で反転上昇し全開します。
この機構をプレッシャーリターンセンサーといいます。

お願い

●プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくることがありますので、開ボタンを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。

●開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲（不感知帯〔下枠より100mm程度〕）が出る場合があります。この範囲に物がないことを確認してから作動させてください。



⚠ 注　意

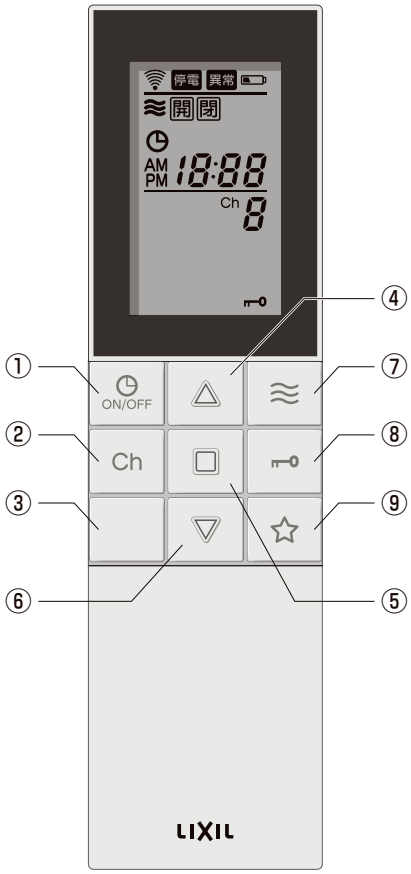
●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止ボタンを押してシャッターを停止させ、開ボタンを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
●負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止ボタンを押して異常解除をしてください。
●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

「エアリス」リモコンのなまえとはたらき

1 リモコン

※操作のしかたは、P.10「**リモコンの操作のしかた**」を参照ください。

リモコン

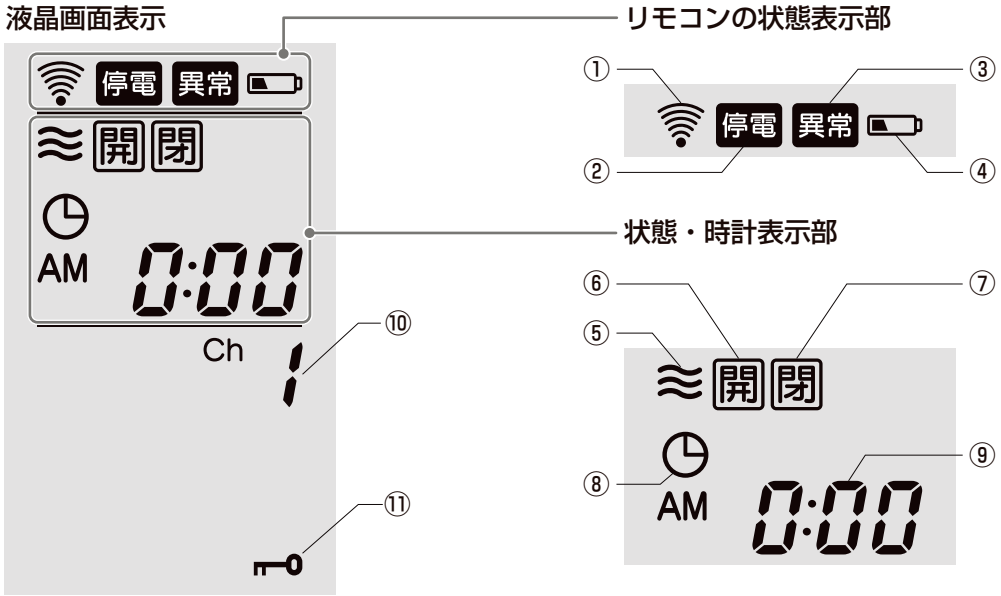


●リモコンのなまえとはたらき

番　号	なまえ	はたらき
①	タイマーボタン	・タイマー／現在時刻の設定に使います。 ・タイマーのオン／オフ切替に使います。
②	チャンネルボタン	・操作したいシャッターのチャンネルに合わせます。 ・チャンネル設定に使います。
③	ー	・このボタンは使いません。
④	開ボタン	・シャッターが上昇します。 ・採風操作時にはフラップスラットを開きます。 ・各種設定時の送り操作をします。
⑤	停止ボタン	・シャッターが途中停止します。 ・異常表示の解除をします。
⑥	閉ボタン	・シャッターが下降します。 ・採風操作時にはフラップスラットを閉じます。 ・各種設定時に戻る操作をします。
⑦	採風ボタン	・採風操作に使います。 ※シャッター全閉のときのみ作動します。 ※イタリヤの場合は使用しません。
⑧	ロックボタン	・リモコンのボタンにロックをかけるときに使います。
⑨	お気に入りボタン	・設定をした位置まで作動します。

2 リモコン液晶画面の表記について

※操作のしかたは、P.10「**リモコンの操作のしかた**」を参照ください。



●リモコン液晶画面の表記と操作時表示

番　号	表記名称	操作時表示状態（通常開閉時）			操作時表示（採風モード、全閉時）	
		ワンタッチ	短押し続け	その他	ワンタッチ	短押し続け
①	電波	1回表示後消灯	1回表示後消灯	ー	1回表示後消灯	1回表示後消灯
②	停電	本体から停電状態を受け取ったら、解除されるまで表示されます。				
③	異常	本体から異常状態を受け取ったら、解除されるまで表示されます。				
④	電池モニター	リモコンの電池残量が少なくなると表示されます。				
⑤	採風	採風モードに入っているときに常に表示されます。				
⑥	開	開操作中／シャッターが開いているときに表示されます。				
⑦	閉	シャッターが全閉のときに表示されます。				
⑧	タイマー	タイマーを設定し、使用しているときに表示されます。				
⑨	時計	現在時刻を表示します。（タイマー設定中はタイマー設定時刻を表示）				
⑩	チャンネル	選択されているチャンネルを表示します。				
⑪	ロック	ロック表示。ロック表示中は全てのボタン操作が無効になります。				

※リモコンのスリープモードについて
　このリモコンは5分間操作をしなかった場合は表示が消える仕様となっています。
　スリープモードの解除はいずれかのボタンを押すと復帰しますのでその後通常に操作を行うことができます。

操作のしかた

※ここでは、［エアリス］の操作のしかたについて説明しています。

1 ［エアリス］リモコンの操作のしかた

⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止ボタンを押してシャッターを停止させ、開ボタンを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
●負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止ボタンを押して異常解除をしてください。
●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

リモコンの操作のしかた

■シャッターの開閉操作のしかた

【開ける場合】

●開ボタン④を押してください。
・シャッターが上昇し、開表示になります。
・シャッターを全開または途中で止めたとき、開表示になります。

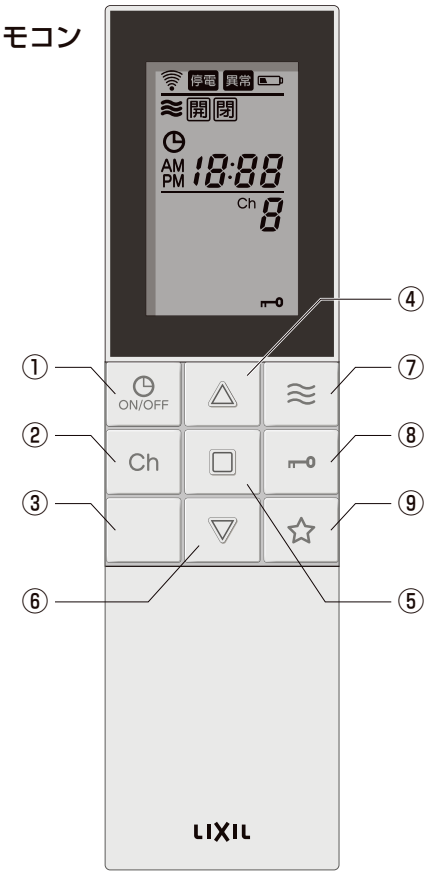
【閉める場合】

●閉ボタン⑥を押してください。
・シャッターが下降します。
・シャッターが全閉のとき、閉表示になります。

【途中で止める場合】

●停止ボタン⑤を押してください。
・シャッターが途中停止し、開表示になります。

リモコン



番号	なまえ
①	タイマーボタン
②	チャンネルボタン
③	ー
④	開ボタン
⑤	停止ボタン
⑥	閉ボタン
⑦	採風ボタン
⑧	ロックボタン
⑨	お気に入りボタン

※ここでは、［エアリス］の操作のしかたについて説明しています。

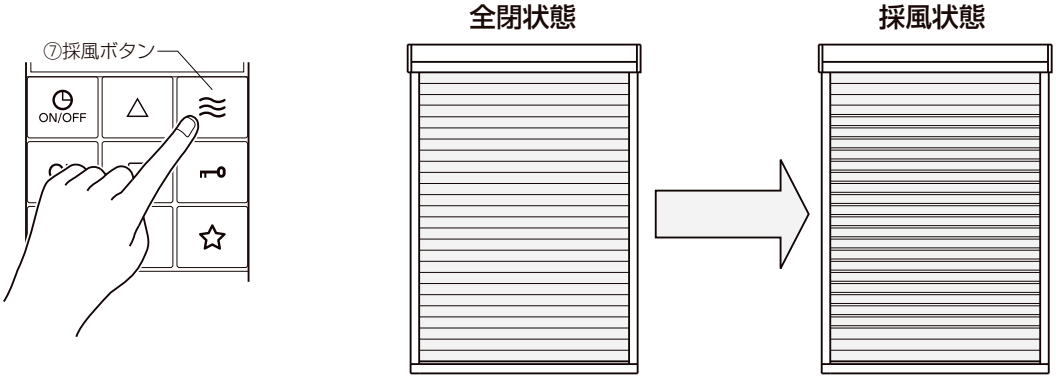
2 ［エアリス］採風操作のしかた

■採風操作のしかた

●採風操作は、シャッターの全閉状態から行います。

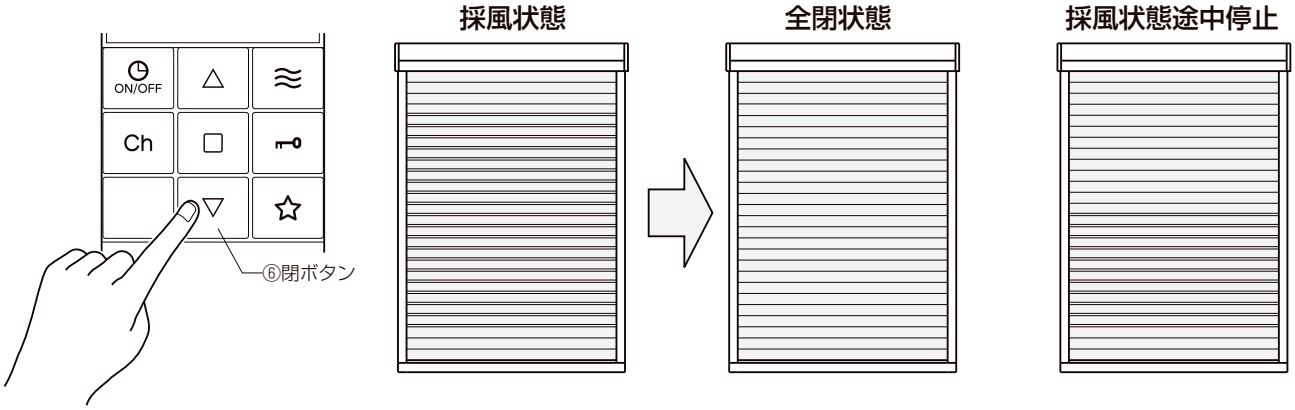
【全閉状態→採風状態の操作をする場合】

●採風ボタン⑦を押してください。
・開・採風表示になります。
・シャッターが全閉状態から、採風状態になります。



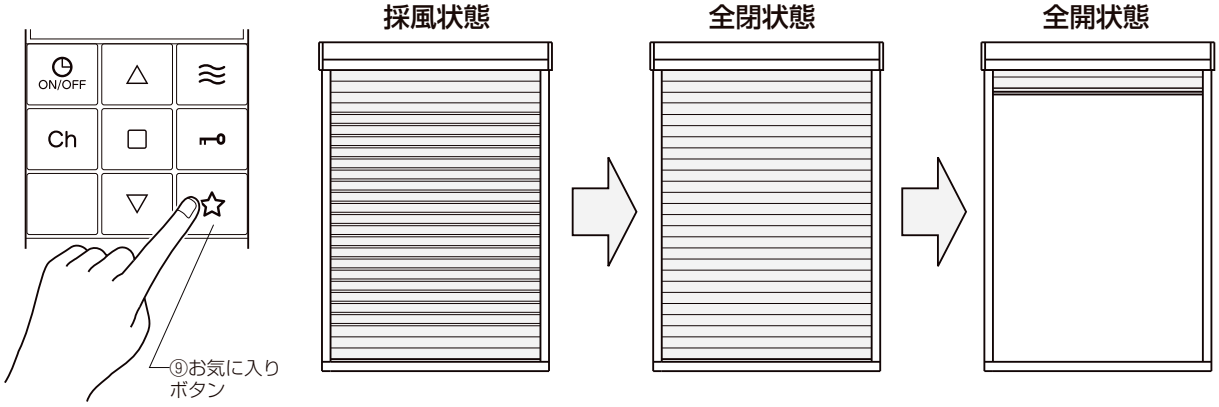
【採風操作をする場合】

●閉ボタン⑥を押してください。
・採風状態からフラップスラットが閉まり、その後全閉状態になり、閉表示になります。
・停止ボタン⑤を押して途中で停止した場合は、開・採風表示になります。



【登録した位置まで作動させる場合】

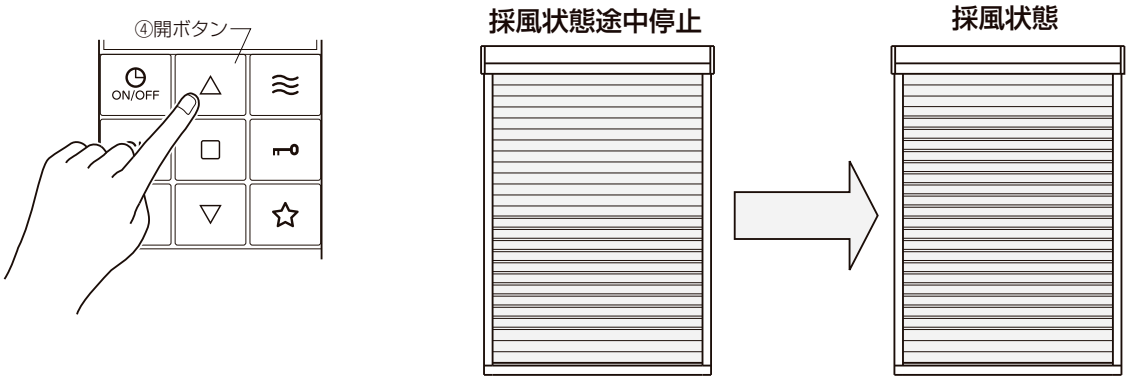
●お気に入りボタン⑨を押してください。
※現在の位置から登録した位置まで作動します。
　出荷時、お好み位置は全開状態となっています。
　設定方法はP.15「**［エアリス・イタリヤ］お好み操作の設定方法**」を参照してください。



■採風状態を途中で停止してからのフラップスラットの開閉操作

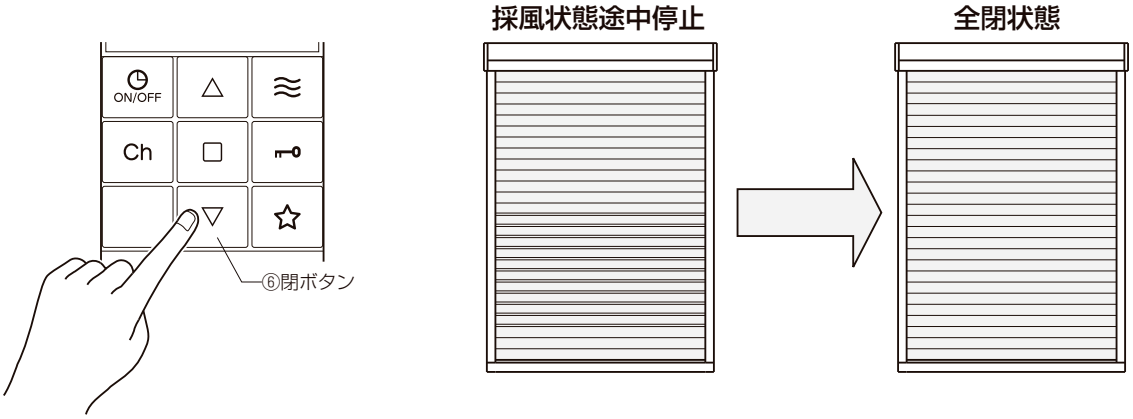
【フラップスラットを開ける場合】

●開ボタン④または採風ボタン⑦を押してください。
・シャッターが採風状態になり、開・採風表示になります。



【フラップスラットを閉める場合】

●閉ボタン⑥を押してください。
・シャッターが全閉状態になり、閉表示になります。



【フラップスラットを途中で停止する場合】

●停止ボタン⑤を押してください。
・フラップスラットが途中で停止し、開・採風表示になります。

■全閉状態からの採風操作

●P.11【全閉状態→採風状態の操作をする場合】の操作を行ってください。

※ここでは、［イタリヤ］の操作のしかたについて説明しています。

3 ［イタリヤ］リモコンの操作のしかた

⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止ボタンを押してシャッターを停止させ、開ボタンを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
●負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止ボタンを押して異常解除をしてください。
●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

■リモコンの操作のしかた

【開ける場合】

●開ボタン④を押してください。
・シャッターが上昇し、開表示になります。
・シャッターを全開または途中で止めたとき、開表示になります。

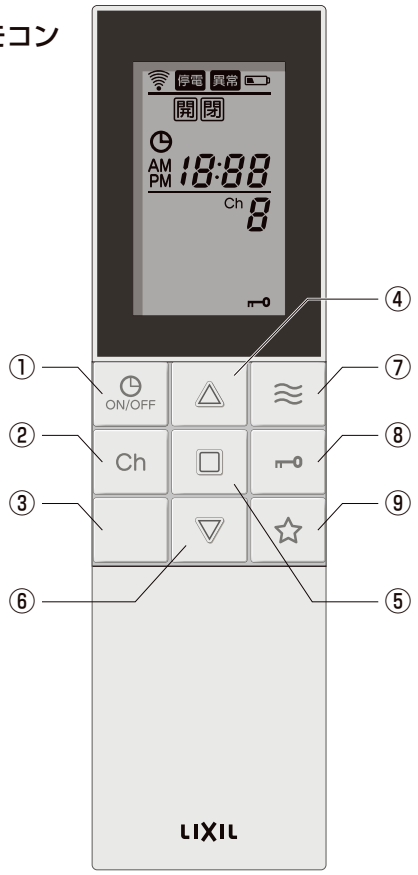
【閉める場合】

●閉ボタン⑥を押してください。
・シャッターが下降します。
・シャッターが全閉のとき、閉表示になります。

【途中で止める場合】

●停止ボタン⑤を押してください。
・シャッターが途中停止し、開表示になります。

リモコン



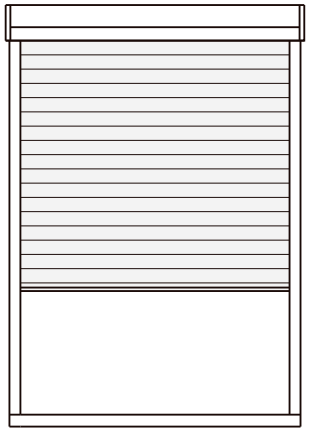
番号	なまえ
①	タイマーボタン
②	チャンネルボタン
③	ー
④	開ボタン
⑤	停止ボタン
⑥	閉ボタン
⑦	ー
⑧	ロックボタン
⑨	お気に入りボタン

※ここでは、［イタリヤ］の操作のしかたについて説明しています。

4 ［イタリヤ］お好み操作のしかた

■お好み操作の操作方法

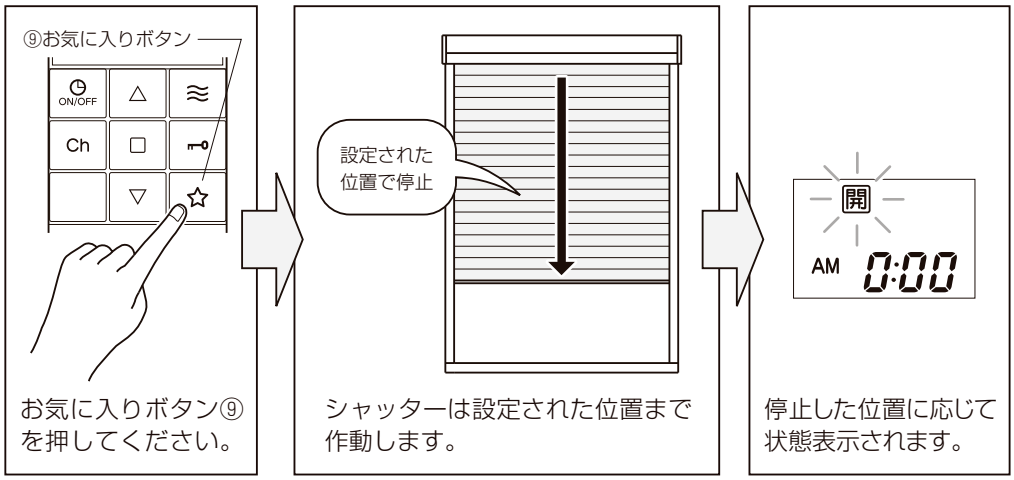
●お好み操作とは、任意の停止位置に設定することにより、ワンタッチで設定した位置にすることができます。



任意の停止位置
イタリヤ

●操作方法

●お気に入りボタン⑨を押してください。設定方法はP.15「**［エアリス・イタリヤ］お好み操作の設定方法**」を参照してください。
現在の位置から設定した位置まで作動します。
出荷時のお好み位置は全開状態になっています。

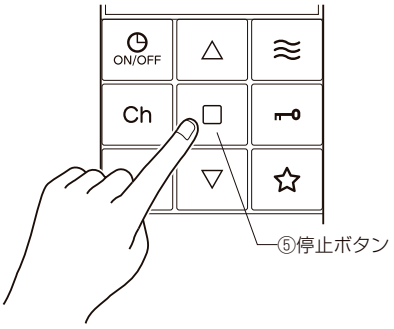


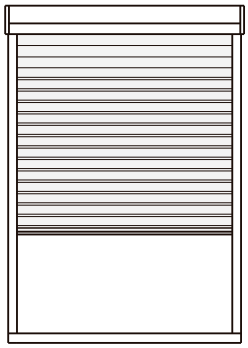
※ここでは、［エアリス・イタリヤ］の操作のしかたについて説明しています。

5 ［エアリス・イタリヤ］お好み操作の設定方法

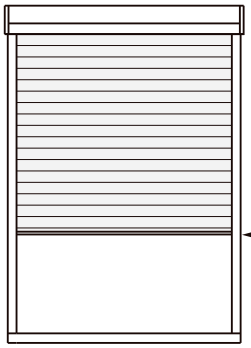
※出荷時、お好み位置は全開状態となっています。

■設定



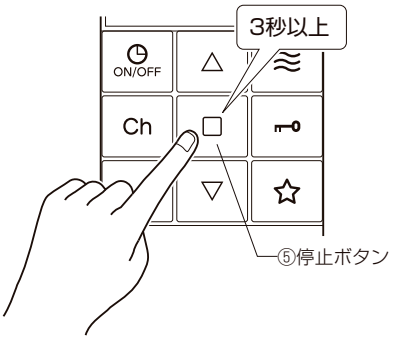


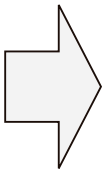
エアリス



イタリヤ

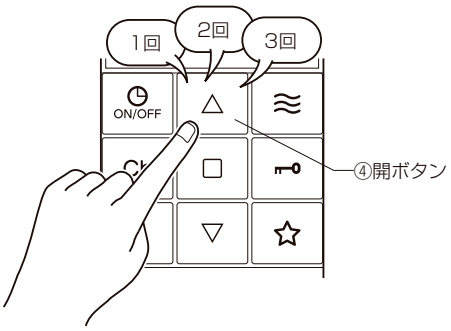
・シャッターを設定したい位置に合わせて停止させます。

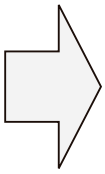




・停止ボタン⑤を3秒以上押します。

・開閉表示が遅い点滅をします。





・開ボタン④を3回続けて押します。

■設定完了

設定中に異常入力、ボタン操作を行ったときは設定を中止し通常モードに戻ります。

・開閉表示が速い点滅をします。
・約1.5秒後、点滅は停止し開表示になります。

※設定時の位置と実際の停止位置では誤差が生じますが故障ではありません。

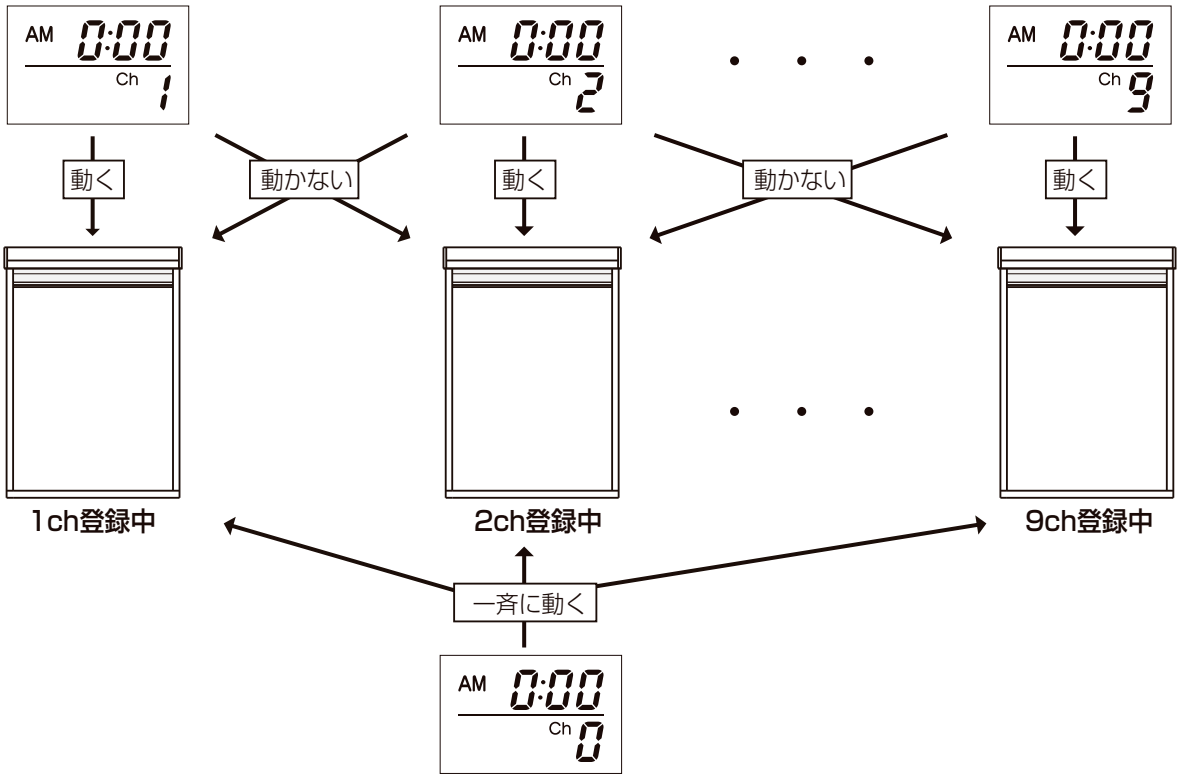
※ここでは、［エアリス・イタリヤ］の操作のしかたについて説明しています。

6 ［エアリス・イタリヤ］チャンネルの切替のしかた

※ここでは、1台のリモコンでのチャンネルの切替えについて説明します。

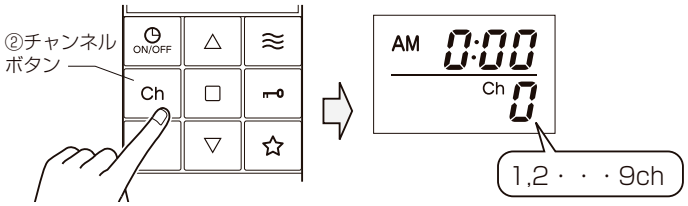
■チャンネル設定について

マルチ電動シャッターは1つのリモコンに最大9台のシャッターを登録することができます。
0ch～9ch まで 10チャンネルあり、 0ch は登録されているシャッター（最大9台）を一斉に操作することができます。

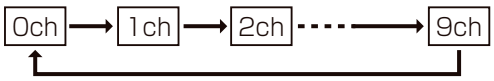


■チャンネルボタンの操作のしかた

チャンネルボタン Ch を押してください。
チャンネルが0ch～9chまで送られます。
9chまで送りチャンネルボタン Ch を押すと0chに戻ります。



チャンネルボタンを1回押すとチャンネルが1つ切り替ります。

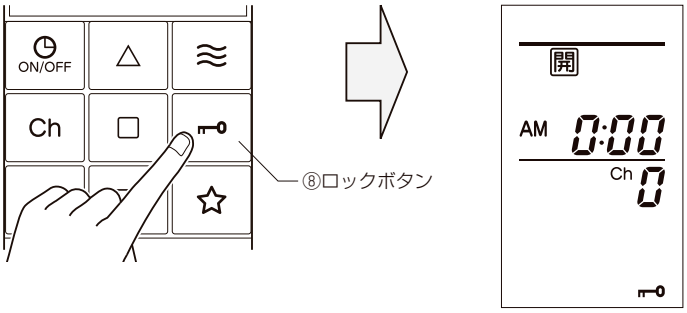


●チャンネル設定を変更する場合は、お客さま相談センターまでご連絡ください。

※ここでは、［エアリス・イタリヤ］の操作のしかたについて説明しています。

7 ［エアリス・イタリヤ］ロックボタンの操作方法

(1)ロックをする場合
→ロックボタンを3秒以上押します。
「🔑」の表示がでて全てのボタンの操作が無効になります。



(2)ロックを解除する場合
→ロックボタンを3秒以上押します。
「🔑」の表示が消えてボタンの操作ができるようになります。

※ここでは、［エアリス・イタリヤ］の操作のしかたについて説明しています。

8 ［エアリス・イタリヤ］タイマー・現在時刻の設定のしかた

■タイマー・現在時刻の設定方法

●タイマーとはシャッターが指定時間に自動で開閉する機能です。
例）朝　7：00にシャッターを自動で開ける。
　　夜 18：00にシャッターを自動で閉める。
タイマー開予約時刻→タイマー閉予約時刻→現在時刻の順に設定していきます。
※時計精度は日差±2秒です。取付け環境でも精度は変わりますので、定期的に時刻合わせを行ってください。
※開閉タイマーを同時刻に設定することはできません。

	手　順	使用するボタンと操作方法	操作後の液晶表示
タイマー開予約時刻の設定	1	タイマーボタン［ON/OFF］を5秒以上押します。 「開」「◷」時刻表示の時側が点滅します。（分側表示）	開 AM 6:00
	2	タイマー開予約時刻（時側）を 開ボタン［△］、閉ボタン［▽］を押して合わせます。	開 AM 7:00
	3	希望時になったら停止ボタン［□］を押します。 時刻表示の分側が点滅します。（時側表示）	開 AM 7:00
	4	タイマー開予約時刻（分側）を 開ボタン［△］、閉ボタン［▽］を押して合わせます。	開 AM 7:00
	5	希望分になったら停止ボタン［□］を押します。	閉 PM 5:00
タイマー閉予約時刻の設定	6	タイマー閉予約時刻（時側）を 開ボタン［△］、閉ボタン［▽］を押して合わせます。	閉 PM 6:00
	7	希望時になったら停止ボタン［□］を押します。 時刻表示の分側が点滅します。（時側表示）	閉 PM 6:00
	8	タイマー閉予約時刻（分側）を 開ボタン［△］、閉ボタン［▽］を押して合わせます。	閉 PM 6:00
	9	合わせたら停止ボタン［□］を押します。	AM 9:28

手　順		使用するボタンと操作方法	操作後の液晶表示
現在時刻の設定	10	現在時刻（時側）を 開ボタン △、閉ボタン ▽ を押して合わせます。	AM 9:28
	11	希望時になったら停止ボタン □ を押します。 時刻表示の分側が点滅します。（時側表示）	AM 9:28
	12	現在時刻（分側）を 開ボタン △、閉ボタン ▽ を押して合わせます。	AM 9:31
	13	停止ボタン □ を押します。	AM 9:31
タイマー予約ON	14	タイマーボタン ON/OFF を1回押して、はなすと「 ◷ 」が表示されてタイマー予約完了です。このとき「開」タイマーと「閉」タイマーの両方が設定されています。 ※詳細はP.19「［エアリス・イタリヤ］タイマー予約の設定/確認方法」を参照してください。	AM 9:31
タイマー予約OFF	15	タイマー予約を全て解除するには「 ◷ 」表示が消えるまでタイマーボタン ON/OFF を複数回押してください。 ※詳細はP.19「［エアリス・イタリヤ］タイマー予約の設定/確認方法」を参照してください。	AM 9:31

※ここでは、［エアリス・イタリヤ］の操作のしかたについて説明しています。

9 ［エアリス・イタリヤ］タイマー予約の設定/確認方法

タイマー設定中は液晶画面に「◷」が表示されます。

	設定状態	操作方法	操作時の液晶表示	備考
①	**開タイマー予約 OFF** **閉タイマー予約 OFF**	**初期状態**	開 AM 9:31	・初期状態 ・現在時刻とシャッターの状態のみ表示されます。
②	**開タイマー予約 ON** **閉タイマー予約 ON**	**初期状態からタイマーボタン［◷ ON/OFF］を1回押します。**	開閉 ◷ AM 7:00	・開閉タイマー設定の場合 ・開タイマー時刻、予約状況「開、閉」「◷」が3回点滅し完了します。 ※閉タイマー時刻は表示されません。
③	**開タイマー予約 ON** **閉タイマー予約 OFF**	**初期状態からタイマーボタン［◷ ON/OFF］を2回押します。**	開 ◷ AM 7:00	・開タイマー設定の場合 ・開タイマー時刻、予約状況「開」「◷」が3回点滅し完了します。
④	**開タイマー予約 OFF** **閉タイマー予約 ON**	**初期状態からタイマーボタン［◷ ON/OFF］を3回押します。**	閉 ◷ PM 6:00	・閉タイマー設定の場合 ・閉タイマー時刻、予約状況「閉」「◷」が3回点滅し完了します。
⑤ (①)	**開タイマー予約 OFF** **閉タイマー予約 OFF**	**初期状態からタイマーボタン［◷ ON/OFF］を4回押します。**	開 AM 9:31	・初期状態①の状態に戻ります。「◷」が消えます。

・各タイマー設定中の場合（②～④の状態）にタイマーボタン［◷ ON/OFF］を押すと下記の順でタイマー予約が切替わります。

※1 タイマー設定中の場合、タイマーボタン［◷ ON/OFF］を1度押すとタイマーの設定状態を確認することができます。
※2 タイマー予約をOFFにする場合は、液晶画面から「◷」が消える（⑤の状態）までタイマーボタンを複数回押してください。

② → ② → ③ → ④ → ①
③ → ③ → ④ → ① → ②
④ → ④ → ① → ② → ③

● 1つのリモコンに設定できるタイマー予約時間は開閉各1つです。
※0chにすると登録しているシャッターを同時刻に一斉に作動させることができます。

● 3回点滅後、予約が完了し通常画面に戻ります。タイマー予約を設定している場合は液晶画面に「◷」が表示されます。

● タイマー設定中の場合（②～④）タイマーボタン［◷ ON/OFF］を1度押すと設定状態が3回点滅します。
※②の状態で3回点滅させた場合、タイマー設定時刻は開の設定時刻しか表示されません。設定時刻を確認したい場合はタイマーボタン［◷ ON/OFF］を複数回押して確認後、②の状態に再度設定をしてください。

● シャッターが意図しない時間に開閉してしまう場合、タイマーの設定を確認してください。

異常表示の原因と解除のしかた

※異常を感知した場合、異常表示が出ます。
ここでは、異常表示の原因と解除のしかたを説明します。

1 異常表示

■異常が表示されるのは以下の原因が考えられます。（故障ではありません）

(1)シャッター下降中に、幅木が異物（人・物など）を感知した場合
→シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。
シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取除いてください。

(2)シャッター上昇中に幅木にぶらさがった場合
→シャッターはその場で停止します。
シャッターには、ぶらさがらないでください。

(3)幅木ロックをかけたまま、シャッターを操作し一定時間経過した場合
→シャッターはその場で停止します。
P.23 **「幅木ロックの操作のしかた」**を参照して、幅木ロックを解錠してください。

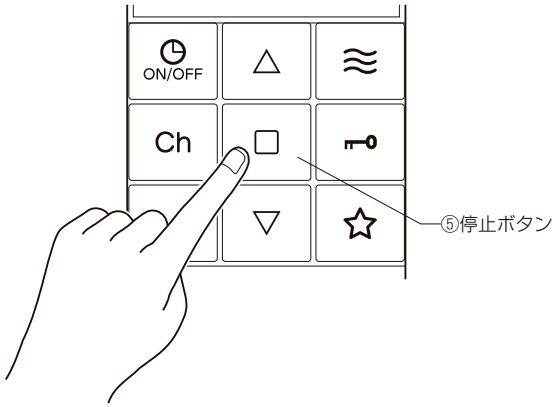
(4)強風時に開閉した場合
→障子を閉め、異常表示を解除した後に開閉してください。それでも異常を表示する場合は、異常表示を解除せず開または閉ボタンを押し続けてください。
異常表示は操作終了後、解除してください。

(5)手動開閉状態でリモコンを操作して約90秒モーターを連続作動させた場合
→シャッターは動きません。操作ハンドルを引いて電動開閉に戻しP.25・26**「電動復帰のしかた」**を参照して、復帰操作をしてください。

(6)通電中に手動開閉操作をし、途中位置で電動操作に切替えてシャッターを全閉にした場合
→全閉位置がずれます。P.25・26**「電動復帰のしかた」**を参照して、復帰操作をしてください。

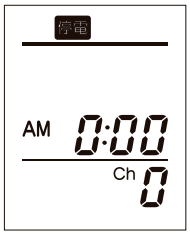
■異常表示の解除のしかた

(1)停止ボタン⑤を押してください。異常の表示を解除します。
※停止ボタンを押して異常の表示が消えない場合は数秒待ち再度停止ボタンを押してください。
※ブザー音は鳴りません。



2 停電表示

●停電復帰後は停電の表示になります。（故障ではありません。）
開閉中の場合は、シャッターはその位置で停止します。
この場合、次の操作をしてください。
※閉ボタン ▽ を押しても作動しません。



お願い

●停電復帰後、1回目のボタン操作が電波法の関係上効かなくなりますが、異常ではありません。2回目のボタン操作より停電復帰動作を開始してください。

■シャッターが全開状態の場合

●全開状態であっても、開ボタン △ を押してください。少し開方向に動作します。
全開後、閉ボタン ▽ を押し、シャッターを全閉にしてください。停電の表示が解除され通常状態に戻ります。
（全開にしただけでは停電の表示は解除されません。）

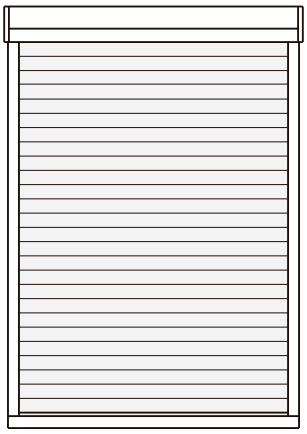
■シャッターが途中位置で停止している場合

●開ボタン △ を押し、シャッターを全開にしてください。全開後、閉ボタン ▽ を押し、シャッターを全閉にしてください。停電の表示が解除され通常状態に戻ります。
（全開にしただけでは停電の表示は解除されません。）
サイズにより幅木と下枠の間に、すき間が発生することがありますが、再度全開、全閉をするとすき間はなくなります。

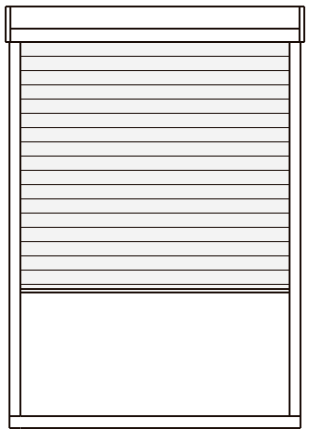
■シャッターが全閉状態の場合

●開ボタン △ を押し、シャッターを全開にしてください。停電の表示が解除され通常状態に戻ります。

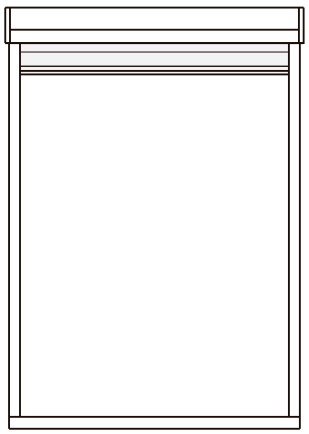
■シャッターが全閉状態の場合



■シャッターが途中で停止している場合



■シャッターが全開状態の場合



連窓方立の取外し方・取付け方

⚠ 注　意

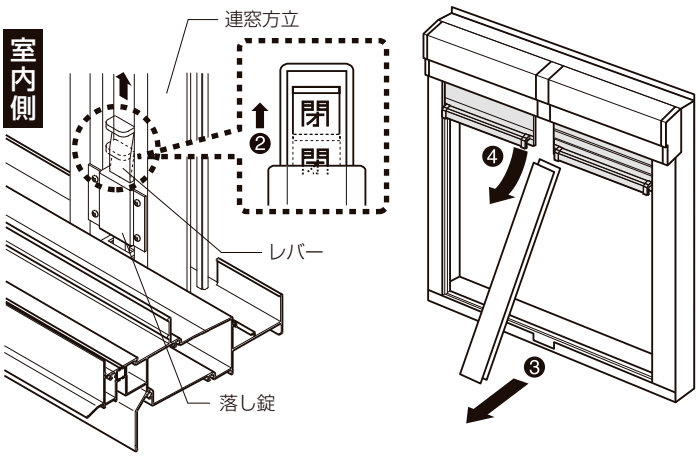
●連窓方立の取付け後に、落し錠のレバー部『閉』刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落し錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

お願い

●連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

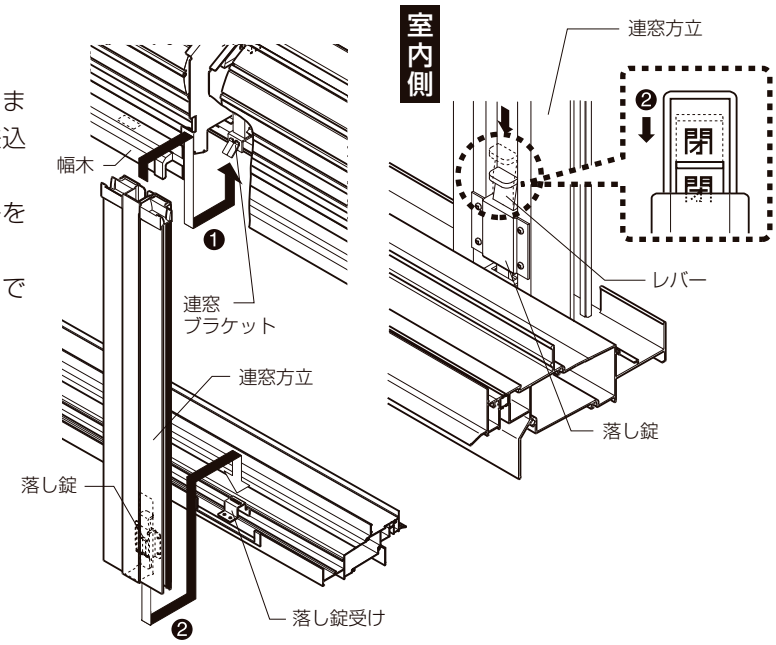
■「連窓方立」の取外し方

①「窓シャッター」を開けた状態にします。
②連窓方立の室内側下部に付いている落し錠のレバーを引上げます。
③連窓方立の下部を室外側に押出します。
④連窓方立を下方向に下げて、上部から引抜きます。



■「連窓方立」の取付け方

①連窓方立の上部に左右の幅木を差込みます。そのまま連窓方立を押上げ、その上部を連窓ブラケットに差込みます。
②連窓方立の下部を室内側に引込み、落し錠のレバーを下げ、落し錠受けに固定します。
※落し錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げ、落し錠受けに固定します。



幅木ロック機構の使い方

※ここでは、幅木ロックの操作のしかたについて説明しています。

1 幅木ロックとは

●自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式の幅木ロックを用意しています。

お願い

●おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

2 幅木ロックの操作のしかた

■幅木ロックの施錠方法

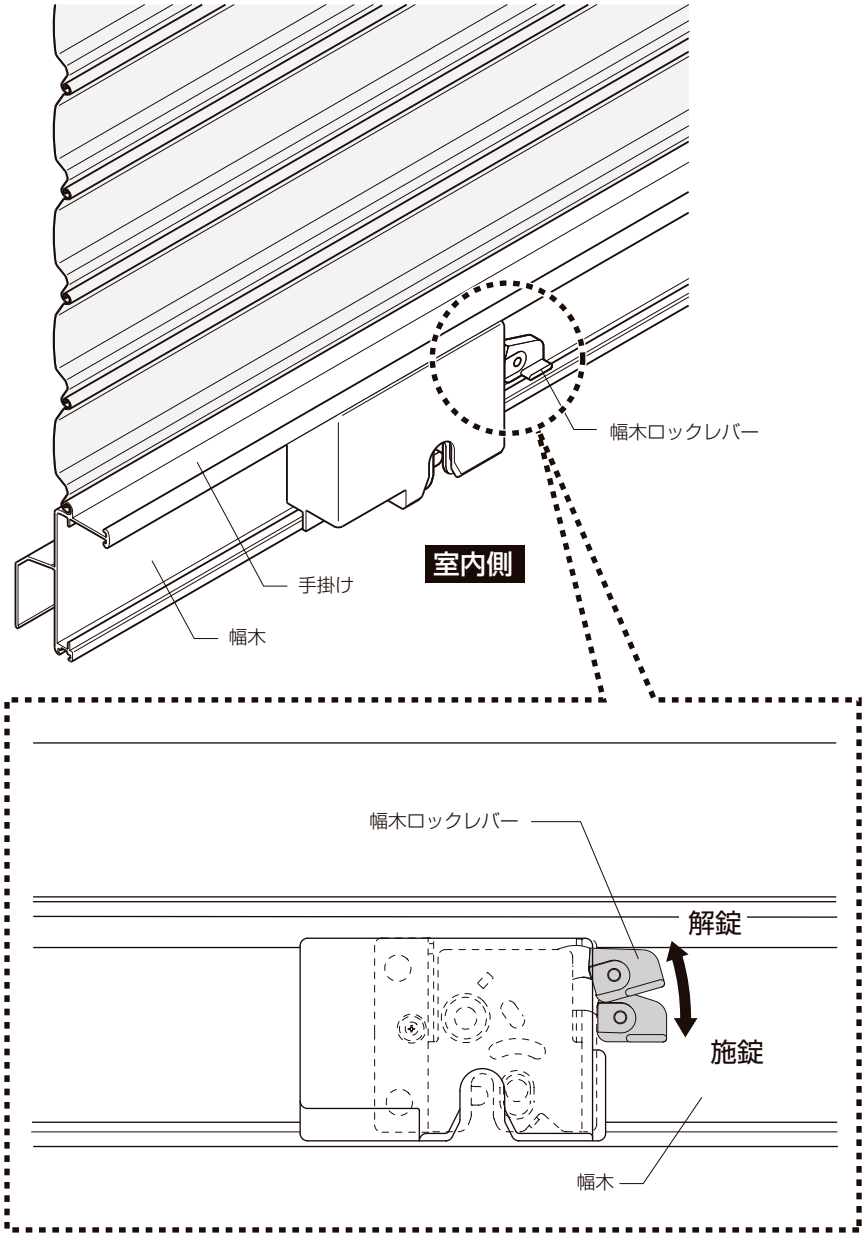
①シャッターを全閉にします。
②幅木の手掛けを下に押付けながら、幅木ロックレバーを施錠側に倒します。

お願い

●幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。

■幅木ロックの解錠方法

●幅木ロックレバーを解錠側に倒します。



停電時開閉機構の使い方

※ここでは、停電時開閉機構の使い方について説明しています。

1 停電時開閉機構とは

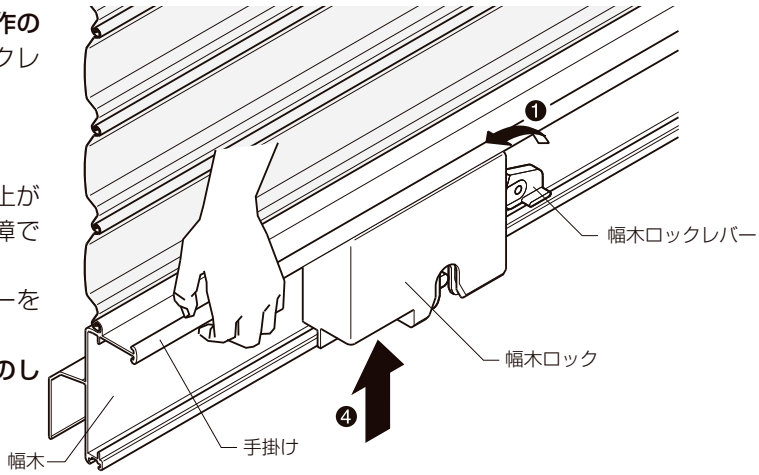
●［エアリス・イタリヤ］は電動式シャッターですが、手動でも開け閉めできます。

お願い

●非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

2 開閉のしかた

①サッシの障子を開き、P.23**「幅木ロックの操作のしかた」**を参照して、幅木ロックの幅木ロックレバーを解錠します。
②操作ハンドルをホルダーから外してください。
③操作ハンドルを下方に引いてください。
（操作ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり大きな音が発生する場合がありますが、故障ではありません）
④そのまま幅木の手掛けを持ち上げ、シャッターを開けます。
※電動操作への復帰は、P.25・26**「電動復帰のしかた」**を参照して、復帰操作をしてください。

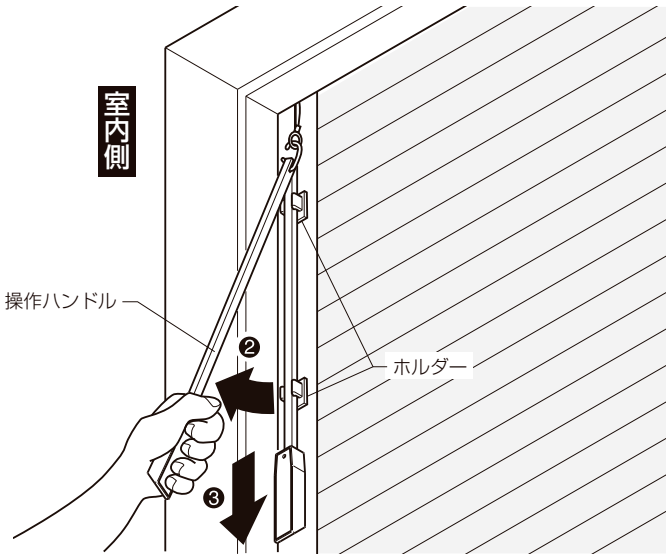


お願い

●エアリスの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がする場合がありますのでご注意ください。

⚠ 注　意

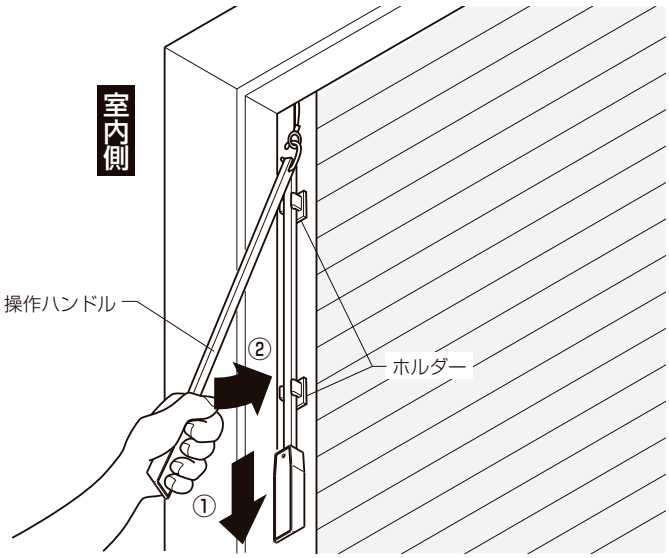
●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。
●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。



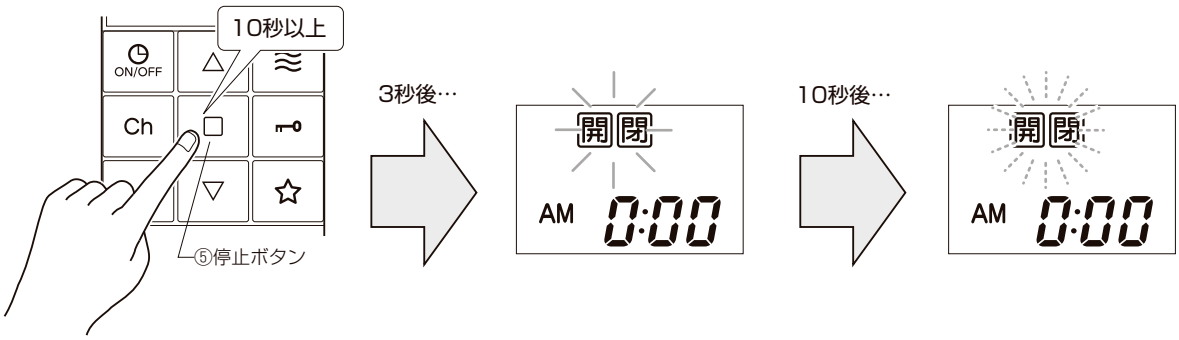
3 電動復帰のしかた

●停電時開閉機構を使った場合、以下の操作にて電動復帰を行ってください。

①操作ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。
※幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。
②操作ハンドルをホルダーに固定してください。



③停止ボタンを10秒以上押してください。
3秒後に開閉表示が同時にゆっくり点滅し、10秒後に開閉表示の両方が速い点滅をします。

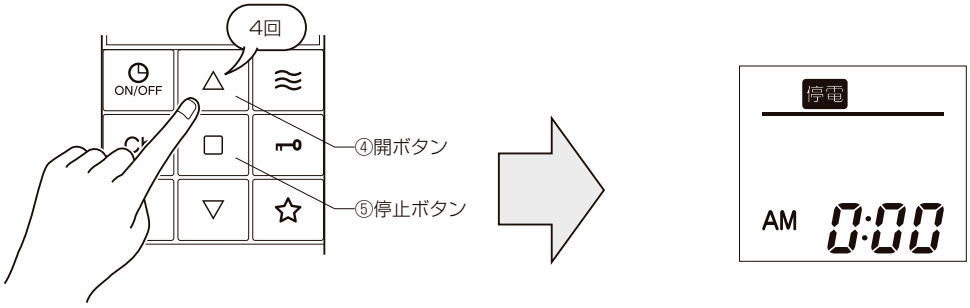


停止ボタンを10秒以上押します。

開閉表示がゆっくり点滅をします。

開閉表示が速い点滅をします。

④開閉表示が速い点滅をしたら開ボタンを4回押してください。
停電表示になります。

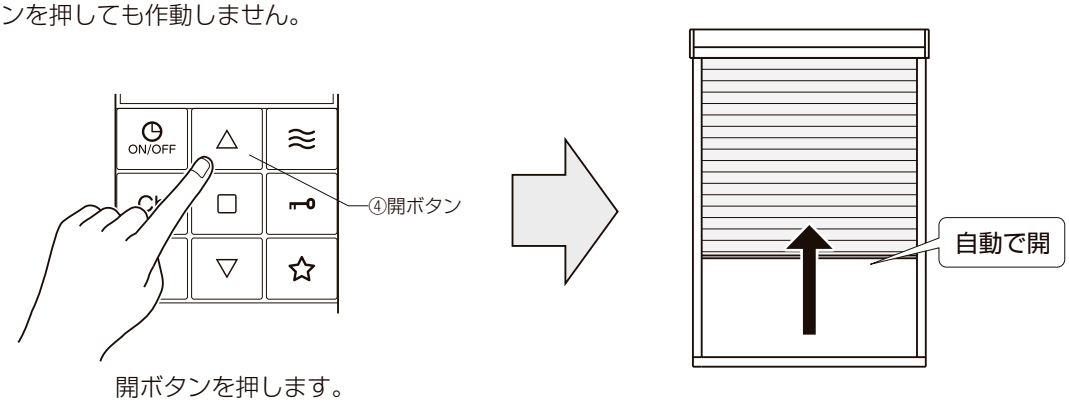


開ボタンを4回押します。

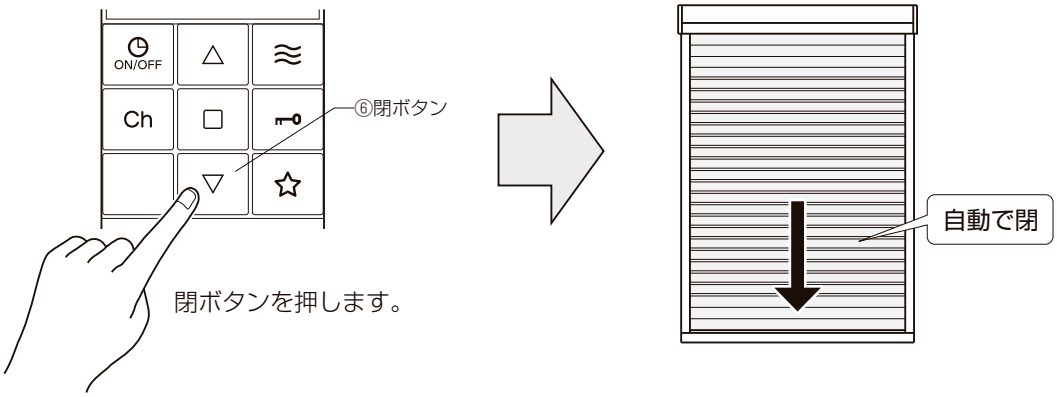
停電表示になります。

※停電表示にならない場合は一度停止ボタンを押してください。

⑤開ボタンを押します。
　自動で全開になります。
※閉ボタンを押しても作動しません。



⑥全開まで動作したら閉ボタンを押します。
　自動で全閉になります。
　シャッター全閉で自動停止し、停電表示が解除され通常状態に戻ります。



点検とお手入れ

※ここでは、操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

点検

●少なくても1ヵ月に2〜3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
●安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。
●プレッシャーリターンセンサーの点検を行う場合は、必ず「プレッシャーリターンセンサーの作動点検」の手順に従ってください。本手順に従わない場合、事故のおそれがあります。

●点検個所

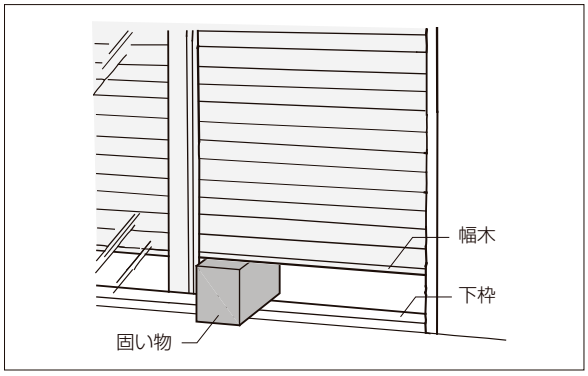
番　号	点検部分	点検内容
①	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないような傷や曲がりなどの変形・異常な音はないか。
②	プレッシャーリターン センサーの作動	プレッシャーリターンセンサーが作動するか本章の点検手順に従ってください。
③	停電時開閉	P.24**「■停電時開閉機構の使い方」**に従い、手動で開閉できるか。

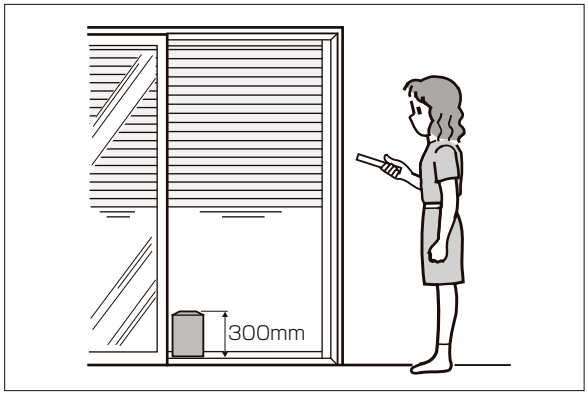
プレッシャーリターンセンサーの作動点検

⚠ 注　意

●プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。
シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
●プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンの停止ボタン⑤を押して、ただちにシャッターを停止させ、開ボタン④を押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。
●負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に停止ボタンを押して異常解除をしてください。

※シャッターの初期設定完了後に実施してください。
①シャッターを全開にしてください。
②下枠中央に高さ300mm程度の固い物を置いてください。
※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。
③リモコンの閉ボタン⑥を押してください。
→シャッターが下降します。
④シャッターが固い物に当たり、下降が停止し自動的に上昇して全開で停止します。
※リモコンは異常が表示されますので、停止ボタン⑤を押して解除してください。異常表示が消えます。
⑤シャッターが全開停止していることを確認してから下枠の上の固い物を取除いてください。
⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店または当社お客さま相談センターへ連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。
→シャッターが自動的に上昇しない。



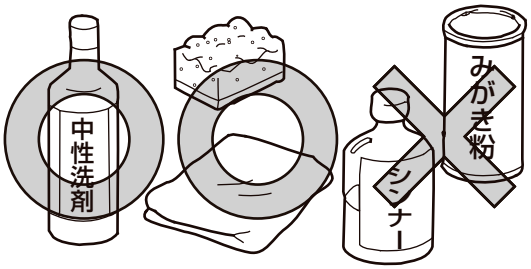


お手入れ

●[イタリヤ]はアルミニウムおよび鋼板で、[エアリス]はアルミニウムで作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除してください。
●下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
●長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、しみ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくても月に1回程度です。
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

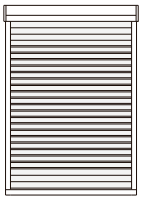
●お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラなどを使用しないでください。
●洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。
②下枠やガイドレール内部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを拭き取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。

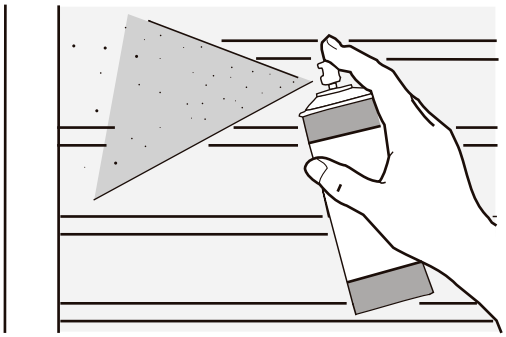
お願い

●「エアリス」の場合は、シャッターを採風状態（シャッターが通気できる状態）にしてスラットの間のゴミ、ホコリ、砂なども取除いてください。シャッターがきれいに閉まらない原因になります。


〈シャッター採風状態〉

③以下の要領で汚れを落としてください。
〔あまり汚れがひどくない部分〕
・ぞうきんで水ぶきした後、から拭きしてください。
〔特に汚れがひどい部分〕
・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、から拭きしてください。

④鋼板部にサビがでた場合
・目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。そのとき、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



シャッターが動かない場合

ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。
シャッターが動かない場合、停止ボタン⑤を押してから、下表「シャッターが動かない場合」に従ってください。

シャッターが動かない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。 停電復帰後、**「■異常表示の原因と解除のしかた」**を参照してください。	P.20・21
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。 ブレーカーを戻した後、**「■異常表示の原因と解除のしかた」**を参照してください。	P.20・21
ボタンは確実に押しましたか？	本書の**「■操作のしかた」**を参照してください。	P.10～19
異常表示していませんか？ 停電表示していませんか？	本書の**「■異常表示の原因と解除のしかた」**を参照してください。	P.20・21
手動で開閉できますか？	操作ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。	P.25・26
幅木ロックが施錠側になっていませんか？	解錠側にしてください。	P.23
ガイドレールに障害物がありませんか？	障害物を取除いてください。	P.3
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、**「■重要なお知らせ」**の窓口までご連絡ください。	P.1
連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.3
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.3
リモコンのチャンネル設定はあっていますか？	チャンネルボタンを押し、作動させたいシャッターのチャンネルに合わせてください。	P.16
リモコンにロックはかかっていませんか？	ロックボタンを3秒押して解除してください。	P.16
無線機を使っていませんか？	シャッターのそばで無線機は使用しないでください。	―
高周波ノイズの出る物が近くにありませんか？	シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。	―

●お問合わせ先については、P.1**「■重要なお知らせ」**を参照してください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品　サッシ・ドア商品

■ 保証期間　施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）

注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容　取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
（例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など）

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うサビ、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など）

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）

⑧天災その他の不可抗力
（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

MEMO

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**　FAX.**03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

TOSTEM

エアリス／イタリヤ（マルチ電動・リモコン仕様）取扱い説明書

2018.10

地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしていきます。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

業務用	MX2900	07	2019.2.10 発行

MX2900